

平成28年10月24日付けで公告した「平成28年度国有林材の安定供給システムによる販売（第4次）」について、協定者を以下のとおり決定しましたので結果を公表します。

### 平成28年度国有林材の安定供給システム（第4次）協定者

整理番号	協定者	該当森林管理署	物件番号	代表樹種	長級 (m)	協定数量 (m3)	企画提案内容の概要
1	株式会社ウツティかわい	三陸北部	1・2	スギ、カラマツ外	4.00～2.00	4,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2m材専門の製材工場を新設し、2m材の活用促進を図る。</li> <li>・ 人工木材乾燥機を導入し、高品質な国産構造用集成材の供給を図る。</li> <li>・ ボイラー燃料、木質バイオマス発電用燃料を供給し、森林資源の有効利用を図る。</li> <li>・ カラマツ集成材の防蟻土台、スギ集成材を商品化し、国産材の利用拡大を図る。</li> </ul>
2	有限会社川井林業・株式会社ウツティかわい	三陸北部 遠野	3 5	スギ、カラマツ外	2.00	3,300	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃料用チップ工場を新設、木質バイオマス発電所への供給を行う。</li> <li>・ 自社トラックの増車により、山元での滞在在庫の解消と輸送コストの削減を図る。</li> <li>・ 自社で木質バイオマス発電所を整備したことにより、低質材の新たな需要が開拓され、森林資源の有効活用を図る。</li> <li>・ 震災復興関連工事で発生する支障木の受け入れを行う。</li> </ul>
3	ノースジャパン素材流通協同組合	遠野	4	スギ	4.00～2.00	1,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トラックの稼働率を向上するため受入先の情報提供や空車率を最小限に抑え帰り荷利用により流通コストの縮減を図る。</li> <li>・ 需要者側のニーズに特化した製品づくりを行う。</li> <li>・ 伐採・造林の一貫作業を実証事業として取組、低コスト再造林等、地域の林業への貢献を図る。</li> <li>・ 需要者側との情報・意見交換を緊密に行い、流通コーディネータの役目をはたす。</li> </ul>
協定数量計						9,300	

平成28年11月24日

東北森林管理局長